

令和2年度 東京都に対する要望事項について

- 1 東京メトロ東西線の混雑緩和及び交通安全対策について（都市整備局）
- 2 鉄軌道駅におけるバリアフリー化の一層の推進について（都市整備局）
- 3 都営バス交通網の整備、充実について（交通局）

（防災・まちづくり・交通対策特別委員会）

東京都予算に対する要望事項比較表

(防災・まちづくり・交通対策特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>1 地下鉄8号線(豊洲—住吉間)の早期事業化について</p> <p>地下鉄8号線豊洲—住吉間の開通は、東京東部の交通ネットワークにおいて南北移動の速達性や直達性を格段に向上させるほか、2年連続して国内で最も深刻な混雑状況である東西線や総武線、京葉線等の混雑率を緩和させる効果があるなど、人口増加の著しい本区のみならず、東京の都市機能向上にとっても欠かせないものである。</p> <p>本路線の整備については、平成30年6月、東京都副知事より、今年度中を目途に、地下鉄8号線延伸のための事業スキームの構築に向け、優先的に取り組んでいくとの、これまでにないほど踏み込んだ、実現に向けた明確な意思が示された。</p> <p>今後、「東京都の総力を結集し、何よりも結果を出していく」という東京都としての決意表明を踏まえ、都が主体的に、国や東京地下鉄株式会社等関係機関との具体的な調整を進めることで、確実に今年度中に事業スキームを構築することはもとより、一刻も早く整備着手するよう強く要望する。</p>	

東京都予算に対する要望事項比較表

(防災・まちづくり・交通対策特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>2 東京メトロ東西線の混雑緩和及び安全対策について</p> <p>東京メトロ東西線は、ラッシュ時の激しい混雑に加え、慢性的な遅延が発生している。加えて、駅乗降客数の増加に伴い、ホーム上の安全確保が課題となっている。</p> <p>ホーム上の安全対策となるホームドア設置については、東京地下鉄株式会社において平成37年度までに全路線全駅整備完了予定と公表しているものの、東西線区内各駅は未だ設置されておらず、整備完了までなお時間を要することが見込まれている。</p> <p>東京都市圏の交通政策を担う東京都として、東西線の抜本的な混雑緩和対策及び混雑が続く区内各駅の安全対策としてホームドア設置を早期に行うよう、引き続き東京地下鉄株式会社に対し働きかけることを要望する。</p>	<p>1 東京メトロ東西線の混雑緩和及び安全対策について</p> <p>東京メトロ東西線は、ラッシュ時の激しい混雑に加え、慢性的な遅延が発生している。加えて、駅乗降客数の増加に伴い、ホーム上の安全確保が課題となっている。</p> <p><u>混雑緩和のための木場駅と南砂町駅の改良工事では、工期が大幅に長引くことが東京メトロより報告されている。</u></p> <p><u>また、</u>ホーム上の安全対策となるホームドア設置については、東京地下鉄株式会社において平成37年度までに全路線全駅整備完了予定と公表しているものの、東西線区内各駅は未だ設置されておらず、整備完了までなお時間を要することが見込まれている。</p> <p>東京都市圏の交通政策を担う東京都として、東西線の抜本的な混雑緩和対策及び混雑が続く区内各駅の安全対策としてホームドア設置を早期に行うよう、引き続き東京地下鉄株式会社に対し<u>強く</u>働きかけることを要望する。</p>

東京都予算に対する要望事項比較表

(防災・まちづくり・交通対策特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>3 鉄軌道駅におけるバリアフリー化の一層の推進について</p> <p>本区では、全ての鉄道駅において、エレベーター等によるバリアフリー経路1ルートの整備が完了している。しかし、1ルートだけでは、目的の出口やホームまで大幅な迂回を余儀なくされる場合があり、高齢者や障害者、ベビーカー利用者等の移動に配慮が必要な乗客にとって、各出入口におけるバリアフリー経路の整備は切実なものとなっている。また、東京2020大会で<u>多数の競技が開催される本区においては、多くの来訪者が見込まれており、だれもが自由に円滑に移動できる環境を一層推進することが必要である。</u></p> <p>については、鉄道駅における2ルート以上の整備が推進されるよう、鉄軌道事業者へ働きかけるとともに、大会会場周辺駅以外にも補助制度を充実させることを要望する。</p>	<p>2 鉄軌道駅におけるバリアフリー化の一層の推進について</p> <p>本区では、全ての鉄道駅において、エレベーター等によるバリアフリー経路1ルートの整備が完了している。しかし、1ルートだけでは、目的の出口やホームまで大幅な迂回を余儀なくされる場合があり、高齢者や障害者、ベビーカー利用者等の移動に配慮が必要な乗客にとって、各出入口におけるバリアフリー経路の整備は切実なものとなっている。また、東京2020大会の<u>レガシーとしても、だれもが自由に円滑に移動できる環境を一層推進することが必要である。</u></p> <p>については、鉄道駅における2ルート以上の整備が推進されるよう、鉄軌道事業者へ働きかけるとともに、大会会場周辺駅以外にも補助制度を充実させることを要望する。</p>

東京都予算に対する要望事項比較表

(防災・まちづくり・交通対策特別委員会)

平成31年度要望事項	令和2年度要望事項（案）
<p>4 都営バス交通網の整備、充実について</p> <p>都営バスは、日常の区民生活を支える公共交通として、本区において重要な役割を果たしており、とりわけ鉄道交通が不足している南北の移動においては、その中心を担っている。さらに、本区では南部地域の開発等による著しい人口増加が続いており、<u>東京 2020 大会会場の整備も進められている。また、豊洲市場への利便性を高めるためにも、今まで以上に区内既成市街地と臨海部を結ぶ路線の充実が都営バスに求められている。</u></p> <p>以上を踏まえ、次の点について要望する。</p> <p>(1) 江東高齢者医療センター、昭和大学江東豊洲病院、がん研有明病院など医療施設へのアクセス利便性を充実させること。</p> <p>(2) 江東区内各地域から豊洲市場や東京 2020 大会の競技会場が整備される臨海部へのさらなる路線充実を図ること。</p> <p>(3) 屋根、ベンチ、バス接近表示装置の設置など、バス停留所施設の充実を図ること。</p>	<p>3 都営バス交通網の整備、充実について</p> <p>都営バスは、日常の区民生活を支える公共交通として、本区において重要な役割を果たしており、とりわけ鉄道交通が不足している南北の移動においては、その中心を担っている。さらに、本区では南部地域の開発等による著しい人口増加が続いている。</p> <p><u>豊洲市場などの臨海部への利便性を高めるためにも、今まで以上に区内既成市街地と臨海部を結ぶ路線の充実が都営バスに求められている。</u></p> <p><u>また、東京国際クルーズターミナル開港を契機に、豊洲市場等日本観光の拠点となる江東区へ、多くの観光客を受け入れられるよう、ターミナルからのアクセスを充実させる必要がある。</u></p> <p>以上を踏まえ、次の点について要望する。</p> <p>(1) 江東高齢者医療センター、昭和大学江東豊洲病院、がん研有明病院など医療施設へのアクセス利便性を充実させること。</p> <p>(2) 江東区内の<u>亀戸をはじめとした各地域から豊洲市場などの臨海部へのさらなる路線充実</u>を図ること。</p> <p>(3) 屋根、ベンチ、バス接近表示装置の設置など、バス停留所施設の充実を図ること。</p>